

令和2年4月13日

生徒の皆さん  
保護者様

さいたま市立浦和中学校・高等学校  
校長 吉野 浩一

### 「校長メッセージ」及び「校長からのお願い」について

新型コロナの影響により臨時休業が継続となっています。

いかなる状況であっても、生徒の皆さんには自分を大切に、市立浦和の生徒としての自覚ある行動をお願いします。

保護者の皆様には、このような状況であるからこそ、なお一層の学校とご家庭との連携が必要と考えておりますので、さまざまな面でのご理解とご協力をお願い申し上げます。

生徒の皆さん、保護者の皆様、何かご心配等ありましたら、遠慮することなく学校に相談してください。

#### 1 「校長メッセージ」要旨

入学式及び始業式等で、新入生及び在校生に「校長メッセージ」として話した要旨です。

新型コロナの影響で、生徒と教職員のみで実施することとなったこと、残念で大変申し訳ないと思っています。新しい学年の始まりに際し、三つの話をします。

一、学びに対して素直に取り組んでほしい、ということです。

学ぶ意志のないところに「教える」ことは不可能です。どんなことにも素直に耳を傾け、「ちょっとした疑問や好奇心」を大切に「学び」に積極的に取り組んでほしいと思います。

二、誰かのためになることはやろうとしてほしい、ということです。

「やってはいけないことはやらない」、「やらなければならないことはやる」は当たり前です。「やってもやらなくてもどちらでもよいこと」であっても「誰かのためになることはやろう」と努めてほしいと思います。

三、自分の安心安全を心がけてほしい、ということです。

想像力や判断力を駆使し、まずは自分の身を自分で守ることを第一にし、万一、自分の安心安全を脅かすようなことがあったら学校に相談してほしいと思います。

このような状況の中にあっても、市立浦和の生徒として自信と誇りを持って、決してあきらめることなく頑張り続けてほしい、皆さんの頑張りを期待しています。

## 2 生徒の皆さんへ「お願い」

中学生の皆さんには多少難しい表現もありますが、調べたり尋ねたりしてしっかりと読みとってください。

### (1) 新型コロナによる現状を見つめ、「知学考行」をしてほしいと思います。

新型コロナについて新聞やニュースからできる限り正確な情報を知り、日本だけでなく世界に目を向け、それぞれのリーダーがどのような判断をしているかを学びつつ、自ら抱いた「ちょっとした疑問や好奇心」に従いながら書物等でさらに学び、この正解のない状況について、与えられた条件の中でどうしたらよいのかを自分なりに考え、自分がすべきこと、自分ができることをしっかりと判断し行動してほしいと思います。その際、一つの考えに固執することなく、柔軟な発想や臨機応変の思考、判断を変更できる余裕はとても大切です。

人類はこれまでも多くの困難を乗り越えてきましたが、その時々には誰かの努力や一人一人の頑張りがきっかけとなり解決策を見出し、皆で力を合わせてさまざまな困難を乗り越えてきました。これからの未来にも起こり得る未知の課題に対し、皆さんが積極的にその解決に取り組んでくれることを期待しています。

### (2) 学習の意欲と学習習慣の維持、集中力を身につけてほしいと思います。

今一番心配していることは、皆さんの学習意欲が下がることです。高い倍率を通して市立浦和の生徒になった新入生の皆さんには、新しい仲間との出会い、勉強や学校行事、部活動にさまざまな期待やあこがれを抱いていたでしょう。在校生の皆さんも進級した新しいクラスで、市立浦和の生活を楽しくもういろいろなことを思い描いていたと思います。

学校を再開できないこと、残念でとても申し訳ないと思っています。学校が再開したときにはできる限りスムーズに通常の学校に戻したいと思いますので、生徒の皆さんには、学習意欲、学習習慣、集中力、体力、心身の健康の維持にも取り組んでほしいと思います。

特に集中力は常に鍛えていないと維持できないものですから、ぜひ読書など自分なりの工夫で取り組んでください。可能なら、新聞や本、漫画やドラマでもよいので、ある部分について題やタイトルを付け、その部分を三分の一以下にまとめて書くなり、誰かに説明するなど読解力や表現力の向上にも自分なりに工夫して取り組んでほしいと思います。

### (3) このようなときだからこそ、何かにチャレンジしてほしいと思います。

先の見えない不安の中、なんとなく落ち着かない毎日かと思います。学校からの課題や自主的な勉強も大切ですが、このような状況を前向きにとらえ、こんなに自由な時間があることはなかなかありませんから、今まで時間がなくてできなかったことややってみたいと思っていたことにぜひチャレンジしてみることもよいと思います。

また、自分の将来、例えば 10 年後 20 年後を想像し、こういう人になりたい、なりたいという理想を思い描き、理想の自分になるために今の自分がやるべきこと、やっておいた方が自分の魅力や能力を高められることを見つけ出し、取り組むのもよいでしょう。

もし、すぐにやることが見当たらなかつたら、読書をおすすめします。目につく本を手当たり次第に開いてみて、面白そうだなと思ったら読んでみてください。途中でつまらなくなつたら、他の本を探し読んでいくうちに、きっとすばらしい本に出会うと思います。

### 3 保護者の皆様へ「お願い」

このような状況の中、生徒たちは先の見えない不安や学校生活への期待がかなわない喪失感や焦燥感で、言いようのない気持ちのまま落ち着かない毎日を過ごしていることと思います。

学校といたしましても、市立浦和への帰属意識や学力をいかに維持向上させるか、心身の健康をどう保ってもらうかについて、今後もさまざまな検討をし、生徒に働きかけていきたいと考えています。

保護者の皆様には、まずは市立浦和の教育力を信頼していただきたいと思います。そして、ご家庭では、お子様をあたたく見守っていただき、緊急事態宣言に対応した行動の自粛、規則正しい生活とバランスのよい食事の提供をお願いしたいと存じます。また、適切な家庭学習の習慣づけや励まし、ちょっとした会話やお子様への労いなど、心身の健康の維持を含めた家庭力の発揮をぜひお願いいたします。学校が再開した際に、生徒たちが元気で明るく登校することができることを最優先に家庭での保護をお願い申し上げます。

また、お子様の様子等で気になる面や不安なことがありましたら、遠慮なく学校にご連絡ください。

なお、本校教職員についても、緊急事態宣言の趣旨に則った市教委の指示により、新型コロナウイルス感染症対策のため、出勤する人数を減らす「在宅勤務」を始めることとなりました。場合によっては、ご連絡いただいた際に担任等が不在のこともあります。その際には他の教職員がご用件を承りますため、回答が多少遅れることがあるかと存じます。このような状況を鑑み、ご理解とご了解をお願い申し上げます。